

川は呼んでいる

お魚調べは毎회가未知との遭遇だ。
何が捕れるか、ワクワクの連続だ。
君も参加してみないか！

(9月13日：水生生物調査)



柴漬けを上げる



大きなカワアナ
ゴが網に入った



いい川づくりを進めていくためには、生き物の現況調査が必要です。会では県の内水面試験場や NPO 法人神奈川ウオーターネットワークの支援を受け、年3回程実施しています。ハゼ類の稚魚やウナギ、テナガエビ、数の少ないカニの仲間アリアケモドキなどが多数観察され、当地が生物のホットスポットであることがわかりました。この日の調査では国土交通省京浜河川事務所による水質チェック（写真上）も行われ、まずまずの水質であることがわかりました。お魚調べの次回は来年です。ご参加お待ちしております。

スマホを捨てて野に出よう！

トンボと遊ぼう平塚 in 馬入水辺の楽校

「トンボの棲む街づくり」運動が始まりました。目的は生物多様性の保全と調査を通して子ども達を野に戻すこと。「トンボと遊ぼう平塚」と「みんなで調べよう平塚のトンボ」を両輪に市内のトンボの生息状況を調べます。結果を元に人と生き物が調和した街づくりを進めていきます。

今年度の調査結果は近々、HPで紹介しますが、平塚環境ファンクラブ、平岡幼稚園、桂川・相模川流域協議会相模川湘南地域協議会、里山をよみがえらせる会、トンボの研究者など、多数の市民が参加する取り組みとなりました。写真は9月21日の馬入水辺の楽校のトンボ調査活動。補虫網を手に取った子どもたちの元気な声が印象的でした。



この真剣な眼差しを見よ！
茅ヶ崎野外自然史博物館、岸一弘先生の説明を熱心に聞く。

熱中！稲刈り in 中井町（9月26日）

今年もエコアップ隊の子供達が中井町で稲刈りを楽しみました。カヤネズミのいる自然度抜群の減農薬栽培の田んぼです。お昼は薪で炊いたご飯とカレーライス。これがまた旨いんだな～



荒れていた田んぼを復田しました。結構大変でしたが、見事なお米が実りました